新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ http://www.echigo.ne.jp/~nma/

会　長　阿部信一
TEL　025-273-1572

事務局　佐藤　博
新潟市江南区亀田水道町1-1-31
TEL　025-381-8141

会報編集委員会代表
遠藤俊一
新潟市西区青山1-13-28
TEL　025-265-4181

受章・表彰おめでとうございます

藍綬褒章受章

（自然公園指導員活動）
杉本　敏　様
（長岡ハイキングクラブ）

環境大臣表彰

（自然保護活動）
遠藤　家之進正和　様
（むささび会）

長年の自然保護活動が認められましたこと心からお祝い申し上げます。

（JAC越後支部晩餐会にて。右、杉本氏、左、遠藤氏）

第64回自然保護研修会・親睦登山に参加して

工友会　**石田邦雄**

平成28年10月15・16日、第64回自然保護研修会が糸魚川市の高ノ峯プラトー森林公園で開催された。15日は講演会、16日はマイコミ平コース又は勝山城跡等コースに分かれて、親睦登山が実施された。概要について報告します。

15日（土）

研修会は14時から受付を開始し、約30名の参加者がありました。15時から、宮崎総務委員長、阿部会長、伊藤自然保護委員長からの挨拶の後、講演が始まりました。

講師は、糸魚川市生まれで、JAC越後支部会員、昨年小学校の校長を定年退職された鶴本修一氏。演題は「私の山岳・自然賛歌（35年間の登山体験から）」。講演の内容について、以下に記述します。

一、糸魚川世界ジオパークの魅力から

・糸魚川ジオパークは2009年8月、日本で初めて「世界ジオパーク」に認定された。

・「ジオパーク」をテーマに沿ってまとめて、地質や文化・歴史を感じることが出来る場所を「ジオサイト」と呼び、市内には24箇所のジオサイトがある。

・糸魚川のジオサイトは山岳関係、ヒスイ関係、フォッサマグナ関係に分かれている。姫川の西側は6500万～6億年前の古い地層であるのに対し、東側の頸城山塊付近は2500万年以降の新しい地層である。

・親不知は飛騨山脈（北アルプス）が日本海に断崖となって落込む地点で、古くから北陸道の交通の難所でした。親不知コミュニティロードからは四世代の道を見ることができる。第一世代、波打ち際の道。第二世代、断崖を削って切り開いた旧国道8号。第三世代、現国道8号。第四世代、海上高架の北陸自動車道。また、近代登山の父ウェストンが親不知を訪れており、その縁でブロンズ像が設置され、毎年5月に「海のウェストン祭」が開催されている。

・梅海新道は北アルプス北部の朝日岳から親不知に至る縦走路で、さわがに山岳会（会長　小野健氏）により苦節10年の歳月をかけて伐開された。白馬岳～朝日岳～長梅山～犬ケ岳～親不知を約4日間で踏破することができる。青海中学校には小野健さんに関する資料等が展示されている。

・黒姫山は全山石灰岩の山で、イチョウシダ等石灰岩

地特有の植物が生育しています。今年新設された「山の日」に登った際、若いカップルが山頂にいたので尋ねたところ、「入籍の記念に登った」とのこと。地元の若者を大事にしたい。

・黒姫山の南東には、16日のツアーで訪れる田海川（とうみがわ）源流のマイコミ平があります。そこはカルスト地形のドリーネが進行して溶食凹地（ポリエ）となっており、そこに降った雨水は川として流れ出ることはなく、石灰岩を穿った多数の孔から地下に吸い込まれる。吸込まれた水は約3・5㎞下流の福来口（ふくがくち）鍾乳洞から流れ出て田海川となり、日本海に注ぐ。そのため、田海川の上流域から中流域は融雪期等を除いて涸沢となっている。

・マイコミ平のドリーネの底からは、白蓮洞（深さ513m、日本一の深さ）、千里洞（深さ405m）等の竪穴の鍾乳洞が伸びている。ドリーネの底には夏近くまで残雪が残り、冷涼な気候が保たれ、ムシトリスミレ等の亜高山性の高山植物が生育している。

・ヒスイは日本が誕生する遥か前の6億年前の石と言われている。緑色を帯びた半透明の石で、古くから宝石として珍重されてきた。日本では明星山の岸壁が落込む小滝川ヒスイ峡で最初に発見され、黒姫山の西側の青海川ヒスイ峡でも産出される。今年9月、日本鉱物科学会により、ヒスイが「日本の石」に選定された。

・山岳関係では、オーバーユースによる雨飾山登山道の拡幅・傷み、お花畑の減少、焼山の火山活動の降灰による植生への影響が懸念されている。

二、ライチョウの世界

・ライチョウはキジ目・ライチョウ科の鳥で特別天然記念物に指定され、絶滅危惧種1Bにランクされている。1980年代には約三千羽の生息が確認されていたが、2000年代は約二千羽に減少したと推定されている。

・現在は本州中部の標高2〜2・4百mを超える高山帯（頸城山塊・北アルプス・乗鞍岳・御嶽山・南アルプス）に生息している。ライチョウは高山環境の指標と言われている。

・ライチョウは飛ぶことが苦手な鳥ですが、約25㎞移動したという情報がある。明星山で糞を見付けたとの情報もあり、頸城のライチョウと北アのライチョウが交流しているとの仮説もある。

・生息数減少の要因としては、以下の項目があげられる。

①捕食動物（キツネ・テン・カラス等）の分布拡大（ニホンザルが東天井岳でライチョウの雛を捕食）。

②動物の高山侵入（ニホンジカがライチョウの餌の高山植物を採食）。

③汚染に伴う病原菌の侵入。

④登山者の増加による攪乱。

⑤地球温暖化の進行。

・ライチョウは日本では神に仕える鳥として大切にされ、狩猟の対象ではなかった。そのため、人を怖がらず近づいても逃げません。ハイマツ帯の巣で6〜7個の卵を産み、全部孵化しますが、雛の段階で半減します。

・餌はチングルマ・ハクサンイチゲ・ツガザクラ・ガンコウラン等の高山植物の芽・蕾等です。ハイマツは営巣や天敵から隠れたりするのに必要です。

三、越年山行の継続

・槍ケ岳、仙丈岳、西穂等。越年山行を継続している。

講演終了後、17時30分頃より1階で懇親会が始まり、各会から頂いた地酒や「いりやま岳友会」の中村会長から準備頂いた豚汁で楽しく賑やかに懇談しました。

16日（日）

夜明けと共に起床、青空が広がり、天気は良い。朝食後、マイコミ平コース又は勝山城跡コースに分かれて出発する。私はマイコミ平コースに参加したので、その報告をします。

市役所の駐車場に車を置かせてもらい、10時前に糸魚川駅北口のヒスイ王国館前に集合する。

10時に駅前を出発する。黒姫山を右前方に見て田海川沿

いに溯る。「青海八景 福来口早春」の標識がある所で一時下車。対岸には階段状にカットされた採掘場とその下に福来口鍾乳洞が望める。

ガイドの宮島学芸員から、マイコミ平で地下に吸い込まれた雨水が福来口鍾乳洞から流れ出る等の説明を受ける。

更にジグザクで高度を上げ、途中で登山ガイドの猪又さん・古見さんと合流する。ここにゲートがあり、一般車はここまでしか入れない。

（浄土門にて）

歩を進めて行くと、マイコミ平の入口の浄土門に着く。屹立した岸壁が迫り、きれいなU字型を成している。学芸員の説明によると、かつて存在した横穴の鍾乳洞の天井が崩落して出来た地形との説もあるとのこと。

マイコミ平ジオサイトの案内板のある林道終点まで歩く。昼食後、見学コースは、大マイコミ→小マイコミ→通天洞→千里洞→白蓮洞→新マイコミの順序である。

マイコミ平は凹地なので緩く下って行く。左に折れると、すぐに「大マイコミ」となる。割合広い砂利・泥濘の河原で、右側から流れてきた沢が正面の岸壁の基部に吸込まれていた。周囲には青い実をつけたサワフタギが多い。戻って右に行くと「小マイコミ」で小川が岩の基部に吸込まれている。

「小マイコミ」の近くにサワグルミが生える広場があり、マイコミ平の説明板が設置されている。

「通天洞」への道は沢を渡ったり、ドリーネの脇を通ったりして、やや険しくなる。大きなドリーネを下ると、左上から右下に大きな割れ目が走った岸壁があり、その下部が「通天洞」となっていた。入って覗くと上まで竪穴が貫通しており、空が見えるようになっている。

（千里洞）

少し戻って、急な道を登ると「千里洞」のあるドリーネへの下降点となる。コの字型の金具を打込んだ足場と鎖を使ってドリーネの底まで降りて、少し登ると「千里洞」が漏斗型の口を開けていた。怖々と覗き込んで、写真を撮る。上は暑い位だったが、ここは8℃位で冷気を感じる。洞口から冷気の霧が舞い上っている。

千里洞から奥に行くと「白蓮洞」となる。途中の倒木にナメコが有り、先に行った人は思わぬ収穫だった。

（白蓮洞）

「白蓮洞」は日本で一番深いが、洞口は井戸のように垂直で、千里洞と比べると、あまり目立たない。名前のように石灰岩の白が目立つ。奥は良く見えないので、洞口の方にカメラを持つ手を伸ばして写真を撮る。

最後は「新マイコミ」へ行く。小石の多い河原があり、他のマイコミと同じように岩の基部に水が吸込まれていた。小休止後、林道終点からマイクロバスで糸魚川駅に戻り、ツアーを終了しました。

個人的には、糸魚川のジオパークに興味があり、色々探索したいと思っていました。マイコミ平には機会があれば、ドリーネの底に雪が残り、高山植物が咲く季節に、また訪れたいと思いました。

最後に、今回の研修会を開催された自然保護委員会を初めとした関係者の皆様に感謝いたします。

平成28年度　新潟県環境企画課自然保護係との意見交換会報告

新潟県環境企画課自然保護係と新潟県山岳協会自然保護委員会との平成28年度意見交換会が開催されました。その概要を報告します。

開催日時　平成28年11月22日（火）13：15～15：00
開催場所　新潟県自治会館本館202会議室
出 席 者　新潟県環境企画課自然保護係古田氏　引野氏（司会）　平田係長（中途から参加）
新潟県山岳協会自然保護委員会　遠山實　井口光利　高橋欣弘　鈴木勝利　田村健　伊藤　直
新潟県山岳協会　参与　本間一人　副理事長　佐久間雅義
新潟楽山会　大岳佳夫

１．県の事業紹介（県・引野氏）

県の自然保護事業の概要説明

①　環境省直轄事業……国立公園の施設整備で環境省が直轄施行
（予算は同省が100％負担）

②　交付金事業……来の国定公園施設整備事業（県、市町村が事業施行）への助成
（予算55％県市町村、45％国負担）
……ⅰ自然保護や利用者の安全確保
ⅱ公共性が高い施設
ⅲ国立公園内に市町村が設置した施設（山小屋等も含む）の修繕、他言語化への助成

③　自然公園等利用施設修繕事業（県単独事業）（予算は県が100％負担）

２．平成29年度以降の計画の説明（県・引野氏）

以下、各山岳地域における事業のみ紹介（筆者）

Ｈ28年度施行実績と今後計画

①　環境省直轄事業

妙高連峰　28年度　ライチョウ平～火打山頂上木道登山道整備を実施した
洗掘、転倒防止のため梯子型階段を設置
老朽化した木道の再整備と登山道の固定
妙高地区整備については今年度でひとまず完了とする
将来的には富士見平～黒沢ヒュッテ～天狗の庭間整備を計画

苗場山　29年度　頂上湿原内登山道～赤湯登山道整備（木道等）を計画

②　交付金事業

高谷池野営場（妙高市）公衆便所改修を施行中（Ｈ28～29年度）

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー
Mountain & Outdoor Parr Mark
パーマーク
長岡市西宮内2-97（長岡市役所裏通り）
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30～PM8:00水曜定休
http://www.parrmark.co.jp

登山・スキーの専門店
ヒトと地球のインターフェイス
ICI石井スポーツ
新潟店・長岡店
新潟店　新潟市中央区堀之内南1丁目16-52　TEL(025)241-5134㈹
営業時間／10:00～19:00
長岡店　長岡市古正寺町110　TEL(0258)89-6901
営業時間／11:00～20:00（火曜定休日）

平標山駐車場（湯沢町）公衆便所改修を実施
越後三山・只見　28年度　玉子石分岐～池ノ岳間荒廃木道等（0.2Ｋｍ）整備
29年度　池ノ岳方面へ登山道（荒廃木道等）（0.2Ｋｍ）整備
再来年度以降　池ノ岳周辺登山道（０．７Ｋｍ）整備を計画

③　県単独事業
巻機山　28年度　巻機小屋～竜王池間木道登山道改修を実施中
27年度より継続実施中　順次整備を計画
飯豊連峰　門内小屋（門内岳）屋根の応急処置（シール処理のみ）を実施した
平成29年度張替え工事実施予定

３．「生態系被害防止外来種リスト」の説明（県・古田氏）

４．県側から「ふるさとの自然再生協働事業」の趣旨と実施要領についての説明と応募要請および実施実績紹介があった。是非応募願いたいとのこと。
（せっかくの県からの要請ですので山岳団体の積極的な応募をお願いします）

５．県山協からの要望、情報その他
・平ヶ岳の水場付近その他で幕営する登山者が多数おり汚れている。トイレの設置はできないか？
また、幕営禁止を周知徹底したり、携帯トイレを登山口に備え付ける等の対策が必要ではないか。
・巻機山八合目の植生復元地への踏込み防止対策。有志が仮ロープを張ったが不完全である。
→　（県見解）　来年度対策を予定している。県山協にも協力願いたい。
・粟ヶ岳中央登山道の荒廃について写真を提示した。
→　（県見解）「ふるさとの自然再生協働事業」等で協力可能。
・飯豊連峰頼母木岳登山道荒廃状況等について説明。
・角田山のトイレが非常に汚く使う気になれない。何とかできないか。
→　（県見解）新潟市が管理しているので新潟市に相談していただきたい。
・二王子小屋にトイレを設置してもらいたい。
・守門岳　青雲岳～袴岳間木道が傾いて危険な状態になってきた。
→　（県見解）浅草岳も含め、来年度以降対策したい。
・来年度も県庁にて山岳写真展を開催したいので協力をお願いしたい。

意見交換会最後に、平田係長より「貴重な情報が頂け、活発な意見交換会となった。今後一層協力を深めたい」との表明があり閉会となった。

来年度もこの意見交換会を開催し、有意義なものとしたいので、各加盟山岳団体および日山協自然保護指導員、環境省自然公園指導員の皆さんからの情報提供、意見を県山協自然保護委員会にお寄せ下さい。

（自然保護委員長　伊藤記）

ALways Security OK
ALSOK
新潟綜合警備保障㈱
〒950－8633　新潟市東区小金町1－17－20
TEL 025－274－1965　FAX 025－271－3445

魚沼の里
www.uonuma-no-sato.co.jp
八海山
魚沼の酒
www.hakkaisan.co.jp

平成28年11月第327号続編

冬山覚書 7

藤島　玄 著

（新潟県山岳協会１９６１）

●　アイゼンも越後の熊狩用の三本爪のほうが使用価値が大きい。爪の少ないほど雪を抱かず、氷雪でない限り洋式の八本爪より有効であることを知っているか。ワカンと同じく靴用の紐の仕掛けを工夫して、確りと着用しなければなるまいぞ。ただし、店頭に蟹の干物みたいにぶら下がっている夏山雪渓型という安物はダメダメ。無いより危険。

○　食料は綜合管理とする。この野郎何持ってきたなと、リーダーはザックの中まで解るのが本当だ。当番は出発と同時に、間食の甘味、果物から煙草、ヒルムまで干渉する場合があるのを承知しているか。その必要性に応じて、公平な再分配と、消費順位を決めてかからねばならない。個人の浪費は極力抑え、食べ物と女の恨みはなんとやらだ。

●　十時と三時のおやつは御当世生活の悪習慣にすぎないことを知っているか。第一それほど働いているのか。どうして間食の必要があるがんだろう。多忙と心配で、飯なんか食っておられるもんかも困るが、要は、皆の空腹が一緒であって、一緒に美味しく食いたいもんだ。昼のサイレンでガッパリ腹が減り、動けなくなって死んだ奴もいる。

○　山での食事の不規則というより、空腹度、行程、地形などのよって左右されるのは、当然のことだ。適当な場所と天候を判断して、食うことを決めねばならない。不味い物、冷たいものほどゆっくりよく噛まれるか。その芸ができぬと体温の降下はともかく、活力がでるのに時間がかかり、その間にまごまごすると身体の方から参ってしもう。

（次号に続く）

賛助会員御入会・御入金のお礼

次の皆様から、御入会、御入金を頂きました。（11月16日～12月31日）（敬称略、順不同）

氏田　啓治（山岳同好会新潟望遠）　上村　虎夫（十日町山路の会）

御協力ありがとうございました。

新潟県山岳協会　会　長　阿部信一・理事長　楡井利幸・総務委員長　宮崎幸司

平成28年度賛助会員入会受付中　お申し込みは事務局へお願いいたします。

今後の行事予定

平成29年１月28日（土）	第２回理事会	（上越市　ホテルハイマート）
平成29年１月28日（土）	平成29年新年会	（上越市　ホテルハイマート）
平成29年２月18日（土）	冬山講習会座学	（新発田市滝谷　農村婦人の家）
～19日（日）	冬山講習会実地研修	（滝谷・東赤谷付近の山（俎倉山予定））
平成29年３月	第２回安全登山講習会	

編集後記

▲昨年末、県山協で知り合った３名と燕岳に登ってきた。５年前に登った時に比べると、少ない積雪で登りやすかった。これも異常気象の現われか。

▲丁度３連休の中日で、燕山荘は百人ほどが宿泊し混雑していた。僕らのような高齢者は少なく、若い女性登山者が多かった。若い人達の賑わいが小屋の雰囲気を華やかにしていた。

▲僕らが山登りを始めた昭和30年代の山は若者の世界であった。それがいつしか中高年の登山者の世界となっていた。

▲この中高年が山から去った後はどうなるかと危惧をしていたが、若者が戻ってきていることはうれしいことだ。

▲願わくは、この若者たちが、ツアー登山から脱して、どこかの山岳会の一員となって登山を楽しんで欲しいと思う。高齢化の進む山岳会に新風を吹き込んでくれることを期待したい。

（遠藤　記）